NTT Communications Corporation Sustainability Report

2022

CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

特集

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループの サステナビリティ



オナダ



環境



第三者保証

企業情報

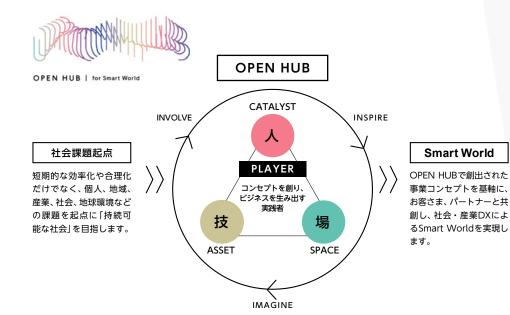


事業共創プログラム

OPEN HUB for Smart Worldでひらく

サステナブルな 未来

2021年10月、NTTコミュニケーションズはSmart Worldの 実現を加速するための事業共創プログラム「OPEN HUB for Smart World」を立ち上げました。社会が抱える多様な課題を起 点にOPEN HUBが提供する「人」「技」「場」を活用しながら、お客 さまやパートナーとともに新たな事業コンセプトを共創し、社会 実装を目指す取り組みを特集します。



それは「コンセプトと社会実装」の実験場

NTTコミュニケーションズは、お客さまやパートナーとの共創を軸にした事業ビジョン「Re-connect X」のもと、移動固定融合サービスやICTソリューションの提供を通じて社会課題の解決に取り組んでいます。めまぐるしい変化の時代において複雑化する課題に対応するには、一社だけでの取り組みでは限界があります。OPEN HUB for Smart World (以下、OPEN HUB) は共創を加速し、多様な文化とアイデアを融合するための「コンセプトと社会実装」の実験場として誕生しました。

OPEN HUBを舞台に新たなコンセプトを打ち立て、ビジネスへと昇華させる PLAYER (プレーヤー) は、お客さまやパートナーの皆さま、そして400人以上(2022年12月現在)におよぶカタリストで構成されます。カタリストとは各分野に精通した社内外の専門家を指し、企業のみなさまと共に互いの技術や知見を掛け合わせることで、新たなビジネスの創出と社会への実装を目指します。OPEN HUBを動かす仕掛けは、大きく分けて4つあります。「OPEN HUB Base」はビジネス共創を目指すプレーヤーが集うコミュニティーであり、「OPEN HUB Journal」を通じて最新の共創の成果やアイデアなどが発信されます。「OPEN HUB Park」は本社29階に開設された最先端技術を備えたワークプレイスであり、NTTグループの各種イノベーション拠点とも連携する「OPEN HUB」の中心的な活動拠点です。ここで生まれたビジネスプロジェクトは独自の共創プログラム「OPEN HUB Play」に則って開発が進められ、最終的な社会実装を目指す流れとなります。

すでにOPEN HUBを起点としたプロジェクトはいくつも動き出し、社会実装されたソリューションも存在しています。カタリスト増員に向けた取り組みも継続的に行われ、リアルとバーチャル、さまざまな企業の垣根を超えた共創はますます加速していきます。

Sustainability Report

2022

CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

特集

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループの サステナビリティ







痛 ガバナンス

第三者保証

企業情報



OPEN HUB for Smart Worldにおける"共創の流れ"

特集

社会課題を起点に多種多彩なプレーヤーが共創し、

新たなビジネスコンセプトの創出とその社会実装を目指します。



REAL

OPEN HUB Base

OPEN HUBのプレーヤーが集い、共創するた めのコミュニティー。有識者や先駆者、ビジョ ンやアイデアを共有する仲間とヒントや悩み を分かち合い、フィードバックを得る機会を 提供します。

社会課題 起点

VIRTUAL/

REMOTE

アイデア の種

発信



メディア

OPEN HUB Journal

Smart World の未来を探求するオウ ンドメディア。ビジネストレンドや先 進事例の紹介記事および各種イベント の案内が随時配信され、OPEN HUB のコミュニティーにインスピレーショ ンの創発を促す役割を果たします。



活動拠点

OPEN HUB Park

リアル/リモート/バーチャルのハイブリッ ドな空間におけるコミュニケーションを可能 とする共創ワークプレイス。5G や IOWN な どの最先端の ICT インフラを配備し、さまざ まな実証実験を行うことが可能です。

アイデア創出

共創プログラム

OPEN HUB Play

事業コンセプトを創るオリジナルの共創プログ ラム。各種パートナーと連携し、共創するプレー ヤーたちの技術やサービスを組み込んでいくこ とで、新たなビジネスの創出と社会実装を目指 します。

コンソーシアム

OPEN HUB Dialog

テーマごと/異業種でのディスカッション

事業化と発信

社会実装へ





Virtual Workplace (予定)

お客さま・パートナーとのリモート コラボレーション



(i) 000R







NTT Communications Corporation Sustainability Report 2022

NTT Communications Corporation Sustainability Report

2022

CONTENTS

トップコミットメント

事業戦略

私たちが目指す社会

特集

私たちの事業を通じた社会課題の解決

NTTコミュニケーションズグループの サステナビリティ









第三者保証

企業情報

010

リサーチ&プロジェクト レポート



セブン&アイグループが実現した、 100%再生可能エネルギーの利用



https://openhub.ntt.com/project/3632.html

OPEN HUBの現場で同時多発的に進行する、社会課題解決に向けた数々の先 進プロジェクト。それぞれの共創のあり方に未来へのヒントが隠されています。



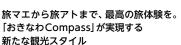
VRで次なるアート体験を。 代官山T-SITEに誕生した 永井博ワールドの舞台裏



特集

https://openhub.ntt.com/project/3857.html







https://openhub.ntt.com/project/3436.html



AIによるプラント運転技能の伝承支援を実現

NTTコミュニケーションズのAI技術と横河ソリューションサービスのプラント制御に関する知見を融合した「AIプラ ント運転支援ソリューション」は、近年、化学プラントの現場で顕在化している技能伝承の課題解決に挑む現在進行形の プロジェクトです。既存の自動制御技術では対応できない熟練運転員による複雑な手動操作のノウハウをAIモデルに適用 する手法は、"企業と企業"、"人とAI"の共創によって生み出された画期的なソリューションであり、まだ見ぬ共創に可能 性を見い出すOPEN HUBの共創プログラムが目指す方向性にも通じています。



P.011 詳細は「CASE」をご覧ください

TOPIC 2

第35回 日経ニューオフィス賞を受賞

2022年8月、「OPEN HUB for Smart World」が、日本経済新聞および一般社 団法人ニューオフィス推進協会 (NOPA) が主催する第35回日経ニューオフィス賞に おいて「ニューオフィス推進賞<クリエイティブ・オフィス賞>」を受賞しました。 近年、情報通信技術の進展や働き方の多様化などの構造変化により、新たな価値 を生み出すフィールドとしてのオフィスの重要性が高まっている中、「OPEN HUB for Smart World」の活動拠点である「OPEN HUB Park」が、リアルとバーチャ ルを超える最先端技術を備えるとともに、パートナー企業とのリアル/リモート/ バーチャルによるコラボレーションを実現する新たなワークプレイスとして設計さ れた点が高く評価されました。





想いをつなぎ、 価値を生み出す 結節点となる

OPEN HUB代表 戸松 正剛

OPEN HUB for Smart Worldは、NTTコミュニケーションズ がICTソリューションの提供を通じて社会課題の解決を試みるうえ で、広く社内外から有志が集う "開かれたハブ (結節点)" になること を目指して立ち上げられました。昨今、あらゆる企業が事業を通じ た社会課題の解決を謳っていますが、一企業が単独で解決できるこ とはそれほど残ってはおらず、今こそ個々の企業の枠を超えた連携 が必要です。コロナ禍以降、弊社も強く推進してきたリモートワー クは遠く離れた場所と場所をつなげ、多様な働き方を実現する一方 で、社会課題解決に向けたクリエイティビティという観点において は、個々の分断を招く方向に働いた側面があると感じます。リアル とバーチャルにまたがるOPEN HUBの発想の原点には、この二律背 反的な矛盾を解消するために、通信インフラを担う我々こそが思い を一つにできる結節点となる場を提供すべきではないか、という使 命感がありました。

OPEN HUBは意図的、戦略的に作り出されたカオス(混沌)の場 であり、結末の知れない舞台演劇のようなものと捉えています。カ タリストを中心とした個性あふれるプレイヤー(役者)たちは、BASE というコミュニティーの混沌の中でひらめきを見出し、PARKという 舞台において共鳴、共創することで新たな価値の創造を目指します。 JOURNALは共創のプロセスを見せるビルボードに例えることがで きますが、シナリオは永遠に未完成のまま、結末は役者たちの演技 次第というわけです。またOPEN HUBにおける混沌は、組み合わせ の妙を生み出すための舞台装置です。そこで起こった化学反応が連 鎖することで、次のひらめきを生む、そんな流れを思い描きました。 さらにはOPEN HUBを通じた人と人との出会いがそれぞれの人的成 長を促し、NTTコミュニケーションズの企業としての成長や発信力 の強化につながる好循環を生み出すことに期待しています。